○海上保安庁告示第五十八号

航路標識の設置、廃止及び一時撤去について、航路標識法（昭和二十四年法律第九十九号）第六条の規定により、次のように告示する。

平成二十七年八月十四日

海上保安庁長官　佐藤　雄二

名称　芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）
位置
所在地　兵庫県阪神港神戸区（芦屋川橋南側面）
北緯　三四―四二―四三
東経　一三五―一八―一四
灯質　等明暗緑光　明二秒暗二秒
光達距離　全度
明弧　平均水面上から灯火まで三〇メートル
高さ　二九カンデラ
光度　三・五海里
点灯年月日　平成二十七年七月三日
記事　一　本灯は、芦屋川橋橋梁灯（Ｒ一灯）と同期している。
二　阪神高速道路株式会社神戸管理部管理

名称　芦屋川橋橋梁灯（Ｒ一灯）
位置
所在地　芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）の東北東方約一五〇メートル
北緯　三四―四二―四五
東経　一三五―一八―二〇
灯質　等明暗赤光　明二秒暗二秒
光達距離　全度
明弧　平均水面上から灯火まで三〇メートル
高さ　二九カンデラ
光度　三・五海里
点灯年月日　平成二十七年七月三日
記事　一　本灯は、芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）と同期している。
二　阪神高速道路株式会社神戸管理部管理

名称　芦屋川橋橋梁灯（Ｐ一灯）
位置
所在地　芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）の南西方約一六メートル
北緯　三四―四二―四三
東経　一三五―一八―一四
灯質　不動黄光
光達距離　全度
明弧　平均水面上から灯火まで三〇メートル
高さ　二九カンデラ
光度　三・五海里
点灯年月日　平成二十七年七月三日
記事　一　本灯は、芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）と同期している。
二　阪神高速道路株式会社神戸管理部管理

名称　芦屋川橋橋梁灯（Ｐ二灯）
位置
所在地　芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）の北西方約一四メートル
北緯　三四―四二―四四
東経　一三五―一八―一四
灯質　不動黄光
光達距離　全度
明弧　平均水面上から灯火まで三・三メートル
高さ　二九カンデラ
光度　三・五海里
点灯年月日　平成二十七年七月三日
記事　阪神高速道路株式会社神戸管理部管理

名称　芦屋川橋橋梁灯（Ｐ三灯）
位置
所在地　芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）の東方約一六〇メートル
北緯　三四―四二―四四
東経　一三五―一八―二〇
灯質　不動黄光
光達距離　全度
明弧　平均水面上から灯火まで三・三メートル
高さ　二九カンデラ
光度　三・五海里
点灯年月日　平成二十七年七月三日
記事　阪神高速道路株式会社神戸管理部管理

名称　芦屋川橋橋梁灯（Ｐ四灯）
位置
所在地　芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）の東北東方約一六〇メートル
北緯　三四―四二―四五
東経　一三五―一八―二〇
灯質　不動黄光
光達距離　全度
明弧　平均水面上から灯火まで三・三メートル
高さ　二九カンデラ
光度　三・五海里
点灯年月日　平成二十七年七月三日
記事　阪神高速道路株式会社神戸管理部管理

名称　海南南防波堤仮設灯標
位置
所在地　和歌山県和歌山下津港海南区（海南南防波堤外端）
北緯　三四―〇八―四〇
東経　一三五―一一―〇四
灯質　不動黄光
光達距離　全度
明弧　平均水面上から構造物の頂部まで九・四メートル　平均水面上から灯火まで九・三メートル
高さ　五・〇海里
光度　実効光度八二カンデラ
廃止年月日　平成二十七年七月七日

名称　海南南防波堤灯台
位置
所在地　和歌山県和歌山下津港海南区（海南南北防波堤灯台の南南東方約二四〇メートル）
北緯　三四―〇八―四一
東経　一三五―一一―〇三
塗色及び構造　赤色円すい形頭標一個付　赤色柱形
灯質　単閃赤光　毎三秒に一閃光
光達距離　実効光度八二カンデラ
弧　五・〇海里
高　全度
明　平均水面上から構造物の頂部まで九・四メートル　平均水面上から灯火まで九・三メートル
点灯年月日　平成二十七年七月十四日
記事　近畿地方整備局和歌山港湾事務所管理

名称　芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）の南
位置
所在地　芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）の南西方約一六メートル
北緯　三四―四二―四三
東経　一三五―一八―一四
灯質　不動黄光
光達距離　全度
明弧　平均水面上から灯火まで三〇メートル
高さ　二九カンデラ
光度　三・五海里
点灯年月日　平成二十七年七月三日
記事　一　本灯は、芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）と同期している。
二　阪神高速道路株式会社神戸管理部管理

名称　芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）
位置
所在地　芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）の東北東方約一五〇メートル
北緯　三四―四二―四五
東経　一三五―一八―二〇
灯質　等明暗赤光　明二秒暗二秒
光達距離　全度
明弧　平均水面上から灯火まで三〇メートル
高さ　二七カンデラ
光度　三・五海里
点灯年月日　平成二十七年七月三日
記事　一　本灯は、芦屋川橋橋梁灯（Ｒ一灯）と同期している。
二　阪神高速道路株式会社神戸管理部管理

名称　芦屋川橋橋梁灯（Ｒ一灯）
位置
所在地　芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）の東北東方約一五〇メートル
北緯　三四―四二―四五
東経　一三五―一八―二〇
灯質　等明暗赤光　明二秒暗二秒
光達距離　全度
明弧　平均水面上から灯火まで三〇メートル
高さ　二七カンデラ
光度　三・五海里
点灯年月日　平成二十七年七月三日
記事　一　本灯は、芦屋川橋橋梁灯（Ｌ一灯）と同期している。
二　阪神高速道路株式会社神戸管理部管理

○海上保安庁告示第五十九号

航路標識の性質その他の変更について、航路標識法（昭和二十四年法律第九十九号）第六条の規定により、次のように告示する。

平成二十七年八月十四日

海上保安庁長官　佐藤　雄二

名称　名古屋港東航路第八号灯標
位置
所在地　愛知県名古屋港第五区（金城信号所の南南西方約五・〇キロメートル）
北緯　三四―五九―三七
東経　一三六―四九―二八
変更した事項　一時位置変更中のところ復旧
変更年月日　平成二十七年六月二十六日

名称　名古屋港東航路第十号灯標
位置
所在地　愛知県名古屋港第三区（金城信号所の南南西方約四・〇キロメートル）
北緯　三五―〇〇―〇三
東経　一三六―四九―五〇
変更した事項　一時位置変更中のところ復旧
変更年月日　平成二十七年六月二十六日

名称　千葉港コスモ石油第二シーバース灯
位置
所在地　千葉県千葉港千葉区（千葉灯標の南西方約五・七キロメートル）
北緯　三五―三一―四八
東経　一四〇―〇〇―一二
変更した事項　一　附属施設
㈠　電気ホーン一個
イ　吹鳴周期　毎二五秒をへだて五秒間吹鳴
ロ　設置場所　本灯の下部
㈡　レーダー反射器
二　コスモ石油株式会社千葉製油所管理
変更年月日　平成二十七年六月二十七日
記事　一時撤去中のところ記事変更のうえ復旧